

平成29年度 奈良県の水産業の概要

1. 特徴

- 吉野川、新宮川、淀川、大和川の4水系の河川における釣りによる漁業
- 山間部における豊かなきれいな水を利用したアマゴ等食用魚の養殖
- 大和平野における灌漑用水を利用した金魚主体の観賞魚の養殖



アユ漁の解禁風景



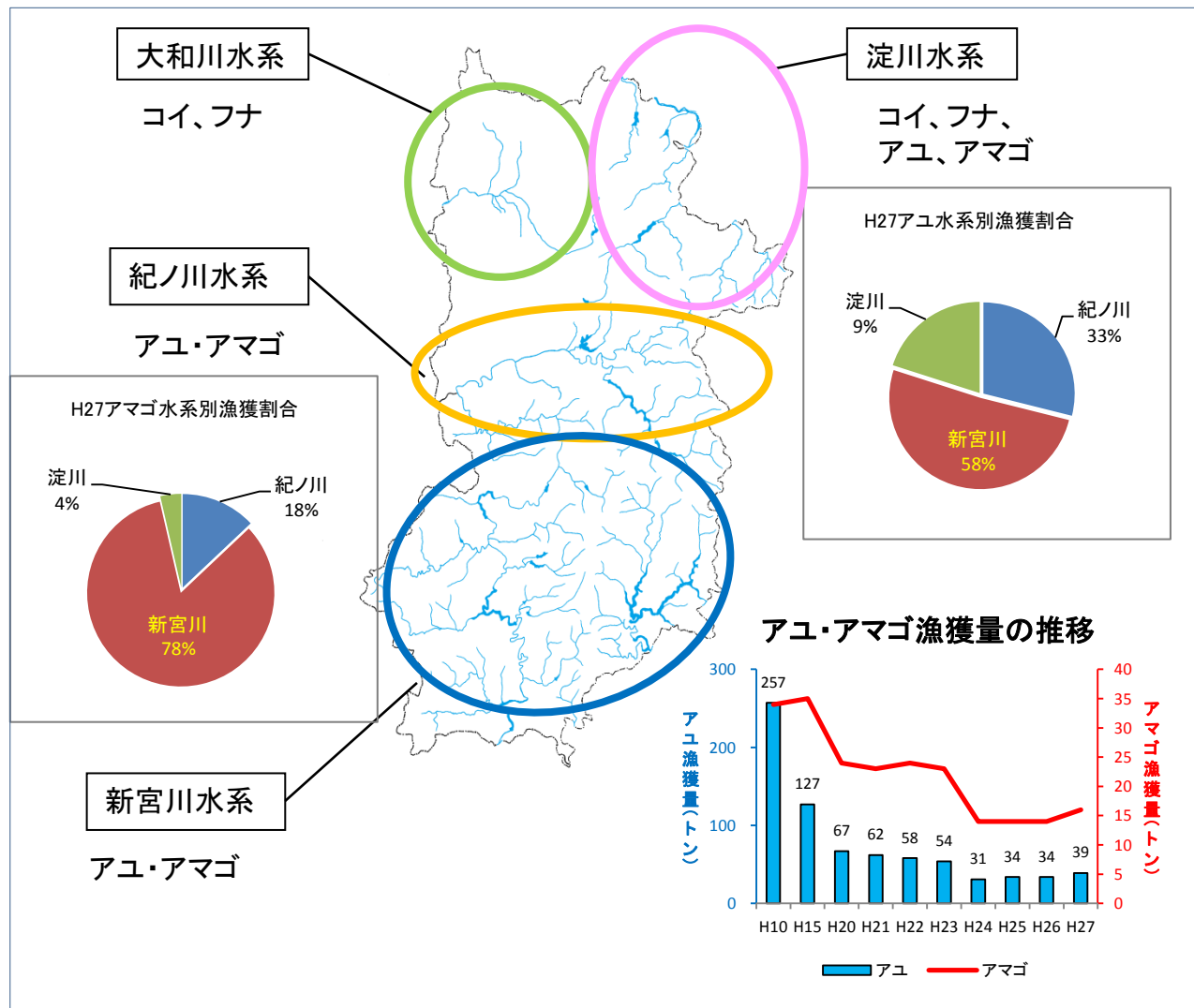
アマゴ養殖場



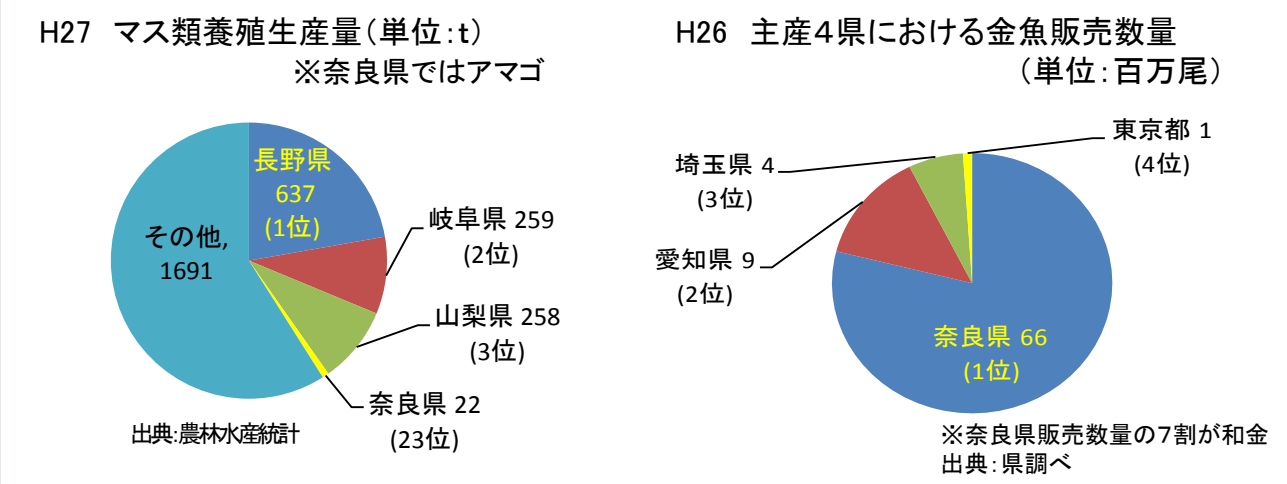
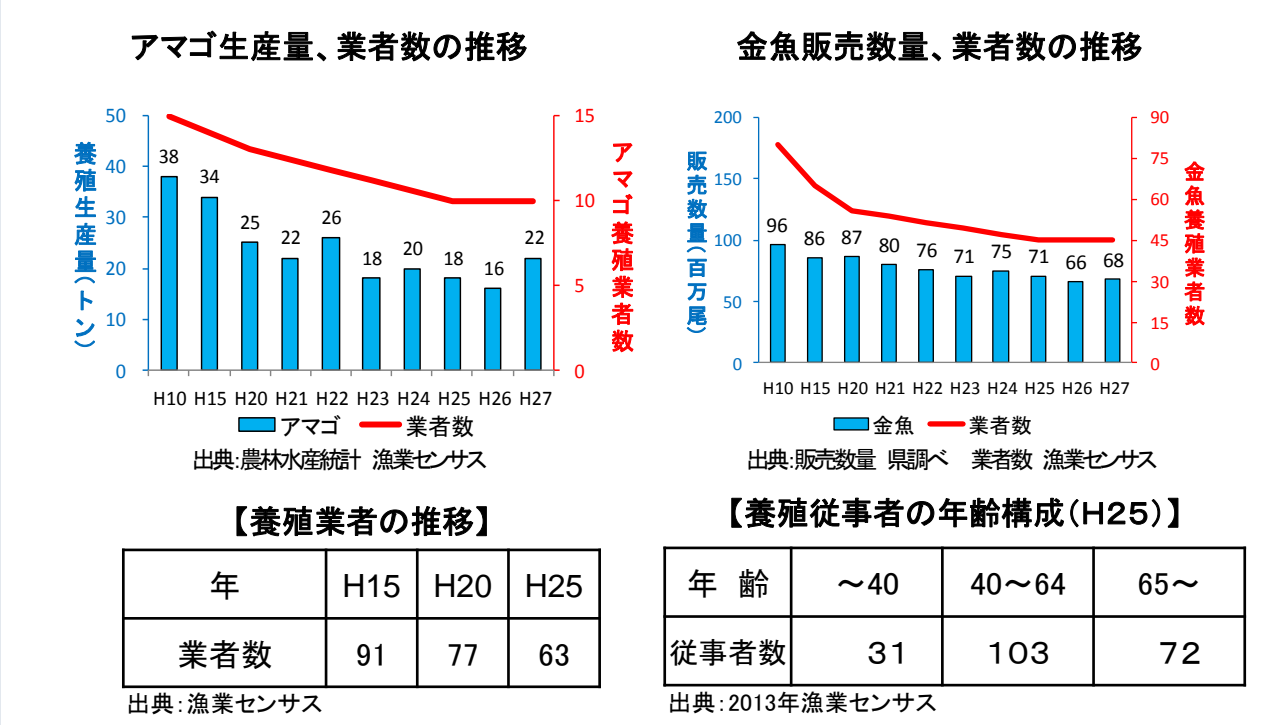
観賞魚市場のせり風景

河川漁業	○22漁業協同組合が行う ○ダム湖で自然ふ化するアユの活用に取り組む
養殖業	【アマゴ】 ○主な生産地は吉野郡や宇陀郡 ○河川漁業の放流用や食用出荷、甘露煮などの加工品に利用 【金魚】 ○大和郡山市を中心に、水田を改良した養魚池等で養殖

2. 河川漁業の現状



3. 養殖業の現状



4. 課題

- 河川漁業
 - ・健全で良く釣れるアユ稚魚の放流、釣り人が好むきれいなアマゴの増殖等により遊漁者を増やす必要がある。
- 養殖業
 - ・実践的な実習の場や専門科目の履修の機会を提供し、担い手を育成する必要がある。
 - ・水産加工品等の開発により、食用魚の消費拡大や販路拡大を図る必要がある。
 - ・金魚の高品質魚の養殖促進や魚病対策指導推進により生産の安定化を図る必要がある。